

# 小豆島クライミング

【報告者】I橋

【日時】2017年5月3～5日 【天候】晴

【参加者】Y本、Z(会員外)、I橋(CL)

## 《ルート》

- 5/3 ミサゴロック／オリーブオイル (5. 8)  
海鳴ロック／潮風 (5. 8)、待人 (5. 9)
- 5/4 拇岳／赤いクラック (5. 9)
- 5/5 ベムロック／パラグラフ (5. 9)、ウキウキ (5. 9)、  
スティング (5. 11 b)  
きもちんよかロック／ランナウェイ (5. 10 a)  
キューブロック／小林2 (5. 9)、小林1 (5. 10 b)、  
小林1の左クラックを適当に、ゆうきライン (5. 7)

## 《報告》

慌てて計画したこともあり、参加者の都合により結局3人での遠征となった。

初日、途中で拇岳の登山口を確認して、吉田の岩場へ到着するがオートビレッジは満杯で泊まられず、近くの吉田キャンプ場を利用することとなった。自治会のおじいちゃんおばあちゃんがとても綺麗にしてくれていて、この日はたまたま外国人がうるさかったけど、一人一泊600円という格安さは超おススメ！！

さて、一番高い位置にあるミサゴロックを目指すも、トポと岩の雰囲気マッチせずなかなかサイトを特定できない。しかも、ダム下から入らず途中の道から入ったものだから、途中で藪コギとなって到着まで大苦戦した。一本取付くものの、景色はいいのだがピン間隔の遠さと落石の多さに心が折れて、海鳴ロックへ移り2本登った後にエリアを偵察して本日は終了。

二日目、朝食の後、会員外のZさんと拇岳を目指す。Y本さんは、留守番してジョギングしたらしい。

登山口から取付きまでは、ゆっくり歩いても約20分。ただし迷う可能性もあり注意が必要。8時過ぎには、赤いクラックへ取付けた。

1・2P、難しいところもなく、気持ち良く上がれるピッチ。

3P、出たすぐの凹角が若干いやらしいピッチ。ケミカルボルトでピッチを切ったが、そこからスラブを左上して大きなテラスまで行くのがいいようである。

5P (スラブでピッチを切らなければ4P)、大きいテラスから少し上がって左上するピッチ。終了点間際はガバヤけど、ちょっとかぶり気味であんまり良くない。腕をシェイクしながらフリーで抜ける。

6P、出だしの2mくらいが非常にバランスが良くないピッチ。この核心ではリングボルトが

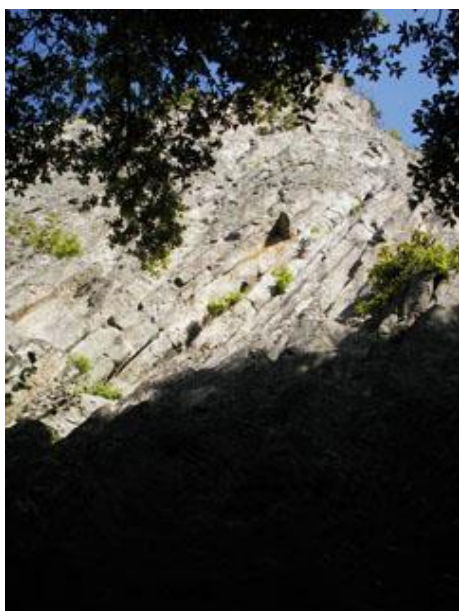
錆びており、ヌンチャクつかもうとも考えたが何とかフリーで抜けた。たぶんここか前のが核心ピッチか。このピッチの途中で、70才以上の男女トリオに抜かれてしまう。かなりベテランのようで、最近の赤いクラックはオリジナルと違うと仰っていた。

7P、少し右上してスラブを上がる快適ピッチ。10時50分頃に頂上到着、所要時間は2時間40～50分で決して遅くないと思うのだが、抜いていったパーティーはほんと早くて驚いた。まだまだ修行が足りないと感じさせられた。

午後からは、Y本さんと合流して観光することにした。福田港で名物のアナゴ丼を食べ、ブルーライン・スカイラインを通過して寒霞渓・四方指・オリーブ園・マルキン醤油記念館と周った。

三日目、初日に迷ったのでこの日はダム下からエリアに入ると、初日の下見もあってかある程度把握できるようになった。ルートはどれもピン間隔が遠くビビりが入るが、みんなで楽しめそうなルートを選んで取付いた。

もう一日滞在する予定だったものの、翌日は天気が崩れそうな予報もあり、一日短縮してこの日で切り上げることにした。キャンプ場で会った三重から来られた方と少し岩場の情報交換し、3日間楽しんだそこを離れることにした。



取付きから1Pを見上げる



名物アナゴ丼